

株式会社トプコン

SAP ByDesign データを DWH に複製し、経営・社員による共通データ基盤でのデータ活用を実現。

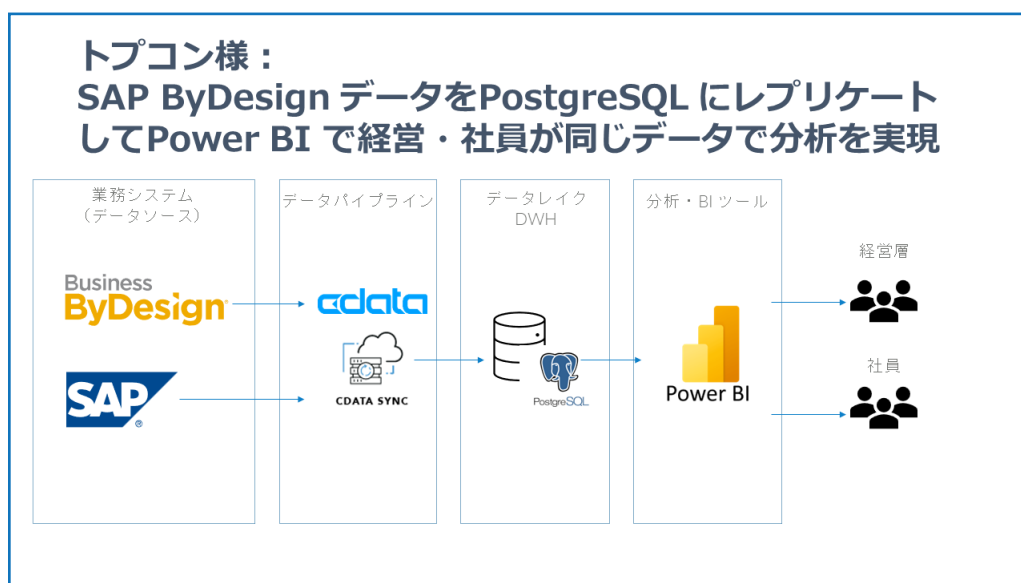
トプコンは『「医・食・住」に関する社会的課題を解決し、豊かな社会づくりに貢献します。』を経営理念に掲げ、グローバルに医（ヘルスケア）、食（農業）、住（建設）の分野で DX を推進しています。グローバルの ERP 統合を行うにあたり、SAP データの分析活用のためにデータパイプラインツールである『CData Sync』を導入しました。CData Sync は、SAP ByDeSign のデータを生データの粒度でデータ基盤である PostgreSQL に複製することができ、分析・BI ツールである Power BI で容易かつ透過的にデータを扱うことが可能になりました。これにより、経営層と幅広い職種の社員が同じデータで分析や意思決定ができるようになり、データドリブンな業務運営を全組織で加速しています。

Challenges

- ・ SAP ByDesign データの Power BI での利用
- ・ SAP ByDesign データ対応の連携ツール
- ・ 粒度の細かいデータを透過して分析で利用

Solutions

- ・ CData Sync で SAP ByDesign を DWH に複製
- ・ ELT に特化したシンプルな UI
- ・ 柔軟な SQL で差分更新を実現



本件導入を進められた経営推進本部の中沢透様にお話をうかがいました。

Q: どのような経緯で本プロジェクトが始まったのでしょうか？

中沢氏：弊社ではすでにグローバルの主要な拠点で SAP ECC および SAP ByDesign の導入プロジェクトが完了しています。次にデータ収集の一元化、つまり経営レベルの集計されたデータを細かいデータの積み上げて透過して管理できるようにするニーズが出てきました。狙いとしては、①一定の制限を加えつつも社内のデータ活用のすそ野を広げることです。DX を進めるにあたり、データの細かい内容を熟知している現場が各々の分析の切り口でデータを活用していくことが重要です。次に、②経営と社員が同じデータを共通言語として使うことです。これは質問のような「プロジェクト」というよりは、当社が継続的に進めているデータ整備やデータ活用推進の中の 1 フェーズです。

Q: SAP ByDesign のデータの分析利用にどんなボトルネックがありましたか？

中沢氏：SAP ByDesign に対応する ETL / ELT ツールがほとんどないことが一番のボトルネックでした。そのなかで検索から CData Sync が SAP ByDesign をはじめとする多くのデータソース対応をしていることを見つけました。CData のツールは過去に当社での導入実績はなかったのですが、当社はエンジニアがスピーディに製品選定やトライアル実施ができる組織風土を持っているので、すぐに「試してみよう」ということになりました。

Q: CData Sync を実際に使われて選ばれた理由は？

中沢氏：CData Sync にあたり検討した点は、①コネクタ有無、②自社運用が可能、③粒度の細かい生データでの複製、④差分更新です。コネクタについては CData Sync には、SAP ByDesign と PostgreSQL が両方コネクタとして完備されていました。

当社では、データ一元化については社内ノウハウを蓄積する分野として自社開発・運用で考えていました。すでに ERP 導入プロジェクトを通じて SAP ECC データについては熟知していますので必要なピースは DWH へのレプリケーションだけです。CData Sync はレプリケーションに特化しており、使いやすい製品で自社のエンジニアによる設定・運用が簡単だと判断しました。そして今回の目的である「生データ・粒度の細かいデータ」をそのまま DWH である PostgreSQL に複製できました。CData Sync は、ELT (Extract、Load、Transfer) 方式で、加工を間に行う必要がないデザインで、シンプルに SAP ByDeSign データを DWH にロードしてくれるところを評価しました。

最後に差分更新については、CData Sync では柔軟な SQL クエリでのデータ取得が可能なおことから、差分でのデータ取得と DWH への書き込みを実装することができました。エンジニアが使い慣れた SQL で設定が可能な点は、ラーニングカーブを引き下げてくれました。

Q: 今後 CData に求めることはありますか？

中沢氏：透過してデータを見ることができるようになることは今後ますます重要になると考えています。CData Sync を使えば、スピーディにデータソースから粒度の細かいデータを DWH に移すことが可能です。すでに欧州でも CData Sync を導入しています。社内ノウハウを蓄積する自社開発部分に加え、有用なサービスやツールは積極的に使っていく考えです。



株式会社トプコン
本社：東京都板橋区
設立：1932年9月

同社ウェブサイトより

CData は、米 CData Software, Inc. の登録商標です。他社製品名などは各社の商標です。